

(別紙5)

補助事業番号 28-1-059  
補助事業名 平成28年度 健康や命を守る医療の活動 補助事業  
補助事業者名 公益財団法人日本精神衛生会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

精神保健の啓発普及に資するため、広報誌「心と社会」の発行、精神保健フォーラムを開催し精神保健に対する関心と理解を高め、もって精神障害者の医療及び福祉の改善と国民のこころの健康の保持向上に寄与する。

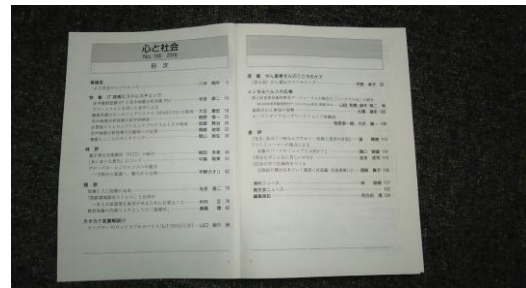
### (2) 実施内容

#### ① 広報誌の発行 (<http://www.jamh.gr.jp/pdf/kokorotoshakai165.pdf>)

精神保健に関する重要課題の現状分析と提言を内容とした広報誌「心と社会」165号と166号を各600部追加で発行し全国の精神科クリニックや精神保健福祉関連団体などに無料で配布した。



165号 表紙



165号 目次



166号 表紙



166号 目次

(別紙5)

②精神保健フォーラムの開催 (<http://www.jamh.gr.jp/gyouji.html>)

平成29年3月4日に東京有楽町の朝日ホールで、フォーラム「子どもをめぐるみんなの課題～虐待の連鎖を断ち切る～」を参加費無料で開催した。当事者やその家族、支援者、精神保健医療従事者、福祉関係者など336名が参加した。



シンポジウム



特別講演

2 予想される事業実施効果

①広報誌の発行

精神保健医療・福祉に関する幅広い情報を、全国の精神保健関係者や一般市民に広報することで、当事者を含めた国民のこころの健康の保持・向上や精神保健福祉制度の充実などが促進されることが期待できる。165号の特集は「IT技術とストレスチェック」、166号の特集は富山で開催したシンポジウム「認知症を知り、支え、つながる」で、IT技術の健康管理やストレスチェックへの活用や高齢化社会の大きな問題である認知症を取り上げ、社会全体での対応に成果が出ることが予想される。

②精神保健フォーラム

平成27年度に全国の児童相談所が対応した虐待相談は10万件を超えた。一方で自治体、福祉事務所、警察、学校、医療など関連機関の意識は高まり、要保護児童対策協議会など協働で対応するシステムが整備されてきた。医療機関では小児科、産科に精神科も交えた虐待対応チームを編成し妊娠期からの児童虐待防止対策として一次予防、二次予防、三次予防のセイフティネットを強化しており、虐待防止の成果を出せるもう一歩まできている。このフォーラムでは、虐待が子どもの脳に与える研究の第一人者である友田明美教授の講演と、虐待問題に携わる保健師、精神科医、臨床心理士、弁護士など多職種の専門家のシンポジウムを通して、参加者それぞれが虐待連鎖を断ち切るもう一歩について考えるきっかけとなることが期待できる。

(別紙5)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 広報誌の発行 (<http://www.jamh.gr.jp/pdf/kokorotoshakai165.pdf>)

「心と社会」165号 A5判 130頁 600部

「心と社会」166号 A5判 130頁 600部

② 精神保健フォーラムの開催 (<http://www.jamh.gr.jp/gyouji.html>)

リーフレット A4判両面2色印刷3つ折り 10,000部

ポスター B3判カラー 300枚

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人日本精神衛生会 (ニホンセイシンエイセイカイ)

住 所： 〒162 - 0851

東京都新宿区弁天町91番地

代 表 者： 理事長 小島卓也 (コジマタクヤ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 伊藤龍彦 (イトウタツヒコ)

電 話 番 号： 03-3269-6932

F A X： 03-3269-6932

E - m a i l： z-seisin@dc4.so-net.ne.jp

U R L： <http://www.jamh.gr.jp>